

2021年度

応用化学専攻 褒賞、奨学金 授与式

早稲田大学 大学院先進理工学研究科 応用化学専攻

2021年度 応用化学専攻 褒賞、奨学金 授与式

日時：2022年3月3日（木）

場所：オンライン開催

司会：細川・野田（4年大学院担任）

1. 開会の辞 (16:00-16:30)

2. 大学院先進理工学研究科長祝辞 鹿又 宣弘 様

3. 第35回 水野賞／第36回 水野敏行奨学金授与式

4. 第18回 応用化学会給付奨学金授与式

5. 第8回 中曽根荘三奨学金授与式

6. 第7回 里見奨学金授与式

7. 第4回 森村豊明会奨励賞授与式

8. 祝辞 応用化学専攻主任 小柳津 研一

9. 来賓ご祝辞

水野家代表、元応用化学会会長
早稲田応用化学会副会長
里見奨学会 事務局長
森村豊明会理事

河村 宏 様
橋本 正明 様
田部 修士 様
森村 潔 様

10. 受賞者代表挨拶 浅子 貴士 君

11. 閉会の辞

12. 記念講演会 (16:30-17:30)

東京理科大学教授

佐竹 彰治 様

13. ポスター発表会（各1分）、懇親会 (17:30-18:30)

- 水野賞・水野奨励賞受賞者（各2分）
- 水野敏行奨学金受給者
- 応用化学会給付奨学金受給者
- 中曽根荘三奨学金受給者
- 里見奨学金受給者
- 森村豊明会奨励賞受賞者

2021年度 水野賞受賞者

あさこ たかし
浅子 貴士 君

マルチアリアル芳香族化合物の網羅的合成法と天然物合成への応用

いっしき りょうた
一色 遼大 君

芳香族カルボニル化合物の触媒的変換反応：脱カルボニル型カップリング反応/
芳香環交換反応/脱アシル型カップリング反応

うんの じょうい
海野 城衣 君

晶析現象の数理モデル化と晶析プロセス最適化への応用

おおきた としまさ
大北 俊将 君

芳香族エステルの脱カルボニル型炭素-炭素結合形成反応と可視光レドックス
触媒による塩化アルキル変換反応

こでら たかのり
小寺 孝憲 君

貧溶媒晶析における速度パラメータ解析と晶析プロセスシミュレーションへの
工業応用

こまつだ まさあき
小松田 雅晃 君

脱芳香族的アリル化反応と開環型フッ素化反応

とりもと まき
鳥本 万貴 君

Structural control of supported metals and oxide supports, their evaluation
and catalytic applications

なかむら なつき
中村 夏希 君

Ion-selective polymer film for lightweight and high-capacity lithium-sulfur
batteries

2021年度 水野奨励賞受賞者

コウ ギョウキョク
HUANG, Xiaoxu 君

Scale up and performance enhancement of carbon nanotube/silicon
heterojunction solar cell using molybdenum oxide layer

応用化学会給付奨学金受給者

(2022年度は4月に選考実施予定)

中曽根荘三奨学金受給者

(2022年度は該当者なし)

2022年度 水野敏行奨学金受給者

さいとう あみ
齊藤 杏実 君

植物CK1サブタイプ選択的阻害剤の開発

かとう ひろき
加藤 弘基 君

パラジウム触媒を用いたプロモアレーンの脱芳香族的二炭素官能基化反応の開発

そう い
曹 偉 君

Xanthomonas campestris WU-9701由来グルコース転移酵素XgtAを利用したalkyl α -D-glucoopyranosideの高効率な酵素的生産法の開発

わたなべ せいご
渡辺 清瑚 君

分子間相互作用の制御に立脚した含硫黄超高屈折率ポリマーの創出

かいわ ゆうすけ
海和 雄亮 君

水素の高密度貯蔵・放出を担うレドックス有機高分子の創出

あいだ かずひろ
会田 和広 君

ジルコニウム-可視光レドックス触媒を用いた環状エーテル開環反応

やまの りょうた
山野 遼太 君

電場印加反応場を利用したCO₂転換

さえぐさ こうき
七種 紘規 君

静電場印加を用いた二酸化炭素回収制御の理論的検討

応用化学会給付奨学金受給者

(2022年度は4月に選考実施予定)

中曽根莊三奨学金受給者
(2022年度は該当者なし)

2022年度 里見奨学金受給者

ほし たかゆき
星 貴之 君

環拡大反応を利用した pseudolaric acid B の合成研究

クラーク ヒュー 君

抗がん物質 poecillastrin C の全合成研究

ちん ほうひ
陳 鵬飛 君

Understanding and controlling the gas-phase pyrolysis of hydrocarbon for efficient carbon nanotube synthesis

まえ ともたろう
前 智太郎 君

カーボンナノチューブ三次元集電体を用いた高エネルギー密度リチウム二次電池の開発

なかがるまい じゅん
中軽米 純 君

変異原性物質 ABAQ の全合成研究

いづみ けいいちろう
飯泉 慶一郎 君

トリアゾロピリジニリデン配位子の開発と遷移金属触媒反応への応用

ウ チクン 君

パラジウム触媒を用いたブロモアレーンの 1,4-カルボアミノ化反応の開発

とがし あすか
富樫 明日香 君

トリカブト毒アコニチン CDF 環部及びビスインジゴチンの合成研究

よしだ けいすけ
吉田 啓佑 君

MgH₂ 多孔質シートへの水素流通による熱供給・水素吸蔵放出制御プロセスの開発

くぼ まさゆき
久保 真之 君

パラジウム触媒による逐次的エステルダンス/脱カルボニル型カップリング反応の開発

さんべい ひろし
三瓶 大志 君

Keggin 型 Polyoxometalate へのプロトン吸着特性の検討

なかほら ひかる
中原 輝 君

アリールヘテロールのアリールダンス反応の開発

みやざき りゅうや
宮崎 龍也 君

多様な分子創出を志向したクロロメチルボリル-N-トシルヒドラゾンの合成と反応

おおき ふうごう
大木 風豪 君

アザアレーンの開環型官能基化反応の開発

ひこさか たく
彦坂 拓 君

β -開裂を駆使したセコトリテルペノイド類の合成

2021年度 森村豊明会奨励賞受賞者

みやもと よしあき
宮本 佳明 君 (修士課程2年)

有機架橋型シランを用いた自己修復性層状シロキサン薄膜の設計

よしだ けいすけ
吉田 啓佑 君 (修士課程2年)

MgH₂ 多孔質シートへの水素流通による熱供給・水素吸蔵放出制御プロセスの開発

水野奨学金について

水野奨学金は、水野敏行氏が1987年1月5日に88歳で逝去された時の遺言を基に、ご遺族から早稲田大学応用化学科へ指定寄付された1億円を基金として設立されました。ご遺族のお話では「終生頭の中には、応用化学と電気化学工業のことしかなかった」とのこと。同氏は1898年東京に生まれ、理工学部応用化学科第2期生として1923年に卒業されました。卒業後、電気化学工業株式会社に入社され、1967年から1970年には同社社長に就任、その発展に大きく貢献されました。OBとして早稲田大学の発展に注力され、応用化学科の発展のため、将来性のある学生に役立つようにと寄付をされた本基金は、わが国の明日を担う新進気鋭の学生諸君を激励するために役立っており、授与された学生たちはそれぞれの分野で活躍しています。2021年より博士進学を志す優秀な修士課程奨学生も新設し、博士後期課程奨学生への支援もさらに拡充しました。

水野賞について

水野基金を原資とし、学位取得を予定している者のうち、優れた研究を行い学位論文を成し博士号を取得する学生を表彰しています。

応用化学会給付奨学金について

応用化学の発展に卒業生および卒業生の所属する組織(応用化学会)として助力したいと言う観点から、将来応用化学科から世界に羽ばたく優秀な人材の発掘と育成の一助となることを願い、卒業生からの寄付金を基に応用化学会が2005年度に設立しました。本奨学金は、2022年度より学部学生も対象に加え支援を拡充、応用化学科に所属する教員が研究指導する修士課程1、2年ないし一貫制博士課程1、2年、および応用化学科の学部2～4年の学生の中から博士号取得を志す学生を対象としています。

中曽根荘三奨学金について

中曽根荘三氏は、1946年応用化学科を卒業、大学院文部省特別研究生として「高分子の関わる界面化学」の研究に従事した後、千代田化工建設株式会社、日商岩井(現・双日)株式会社で役員まで務められました。一方、本学では創立百周年記念募金委員として多大なるご協力を頂き、1957年には早稲田大学高研会の設立に初代会長として関わられました。氏より、「高分子の関わる界面化学」分野の研究発展に貢献しようという強い志をもつ先進理工学研究科の大学院生を支援することを目的とした奨学金設置のため、寄付金の申し出がなされ、大学は、中曽根氏のご厚志に報いるため、2014年にその寄付金をもって中曽根荘三奨学資金を新設しました。

里見奨学金について

公益財団法人里見奨学会は日本パーカライジングの創業者故里見雄二氏が1956年に設立されたものです。2016年、早稲田応用化学会の元会長で現日本パーカライジング株式会社会長である里見多一(さとみかずいち)氏からのお申し出により応用化学の学生を対象に奨学金を給付して頂きましたが、2019年には新たに学内の冠奨学金として給付が開始されることとなりました。里見多一氏は1974年早稲田大学応用化学科修士課程を修了され、早稲田応用化学会給付奨学金制度を作られたときの本会会長でもあり、母校への熱い思いで学生支援をして頂いております。里見奨学会奨学金は、志の高い優秀な学生諸君を対象とし、有為な人材の育成と教育の振興に寄与していくものです。

森村豊明会奨励賞について

多額の費用がかかるからと周囲が心配するのを振り切り大隈重信侯が1917年に早稲田大学に応用化学科を設立した際、その実験室と建物を提供し支援をされたのが森村市左衛門(六代目、校賓7番)氏です。森村氏は、明治期に苦勞して事業を興し、日本を代表するセラミックス企業を次々と設立しました。学科の三代目実験室だった現6号館(本部キャンパス)も森村豊明会が多額の寄付をされ建設されたもので、今も豊明会記念応用化学実験室の銘板が壁に掲げられています。創立百周年の機会に、森村豊明会より奨励賞授与の申し出を受け、2019年より褒賞として森村豊明会奨励賞(学部・大学院)が設置されました。博士後期課程に進学する志ある優れた修士課程の学生に対して授与、給付され、(株)ノリタケカンパニーリミテドの記念品も贈呈されます。また、当該年次毎に極めて優秀な成績を修めた学部学生にも褒賞を授与しています。